



EMERSON

EM-242

エマーソン エアークンプレッサー

DC
12V

取扱説明書

この度は「エマーソン エアークンプレッサー」をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読み下さい。
また、読み終わりましたもこの取扱説明書を大切に保管の上、必要の都度お読み返し下さい。



自動車



バイク



自転車



レジャー



4 975960 117227

この製品は日本国内で企画・設計し
中国で生産しています。

仕 様			
品番	EM-242		
商品名	エマーソン エアークンプレッサー		
使用電源	DC12V	消費電流	最大10A
連続稼働時間	最大15分	材質	スチール、樹脂
電源コード長さ	2.8m(有効長2.75m)	ホース長さ	580mm(有効長520mm)
対応バルブ	米式・英式バルブ	吐出量	9L/Min
最高圧力	500kPa	ヒューズ	10A30mm管ヒューズ
付属品	自転車用アダプター、ボール用アダプター、 レジャー用品用アダプター2種		
本体サイズ	幅175×奥行130×高さ65mm		
重量	本体重量0.7kg		

※改良のため、予告なく仕様及び外観の変更をすることがあります。

■各部名称



■安全上のご注意

△ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- 本製品を正しく安全にご使用頂くため、ご使用前にこの「安全上のご注意」を必ずお読みになり、よく理解したうえで正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は大切に保管のうえ、ご使用中に分からなくなった時など、必要な都度、お読み下さい。また、他の人が使用する場合も同様です。
- ここに示す注意事項は、本製品を正しく、安全にご使用頂くためのもので、火災、感電、ケガなどを未然に防止するものです。

■使用上の注意と警告マーク

△ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ご使用前の注意と警告

△ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

警告

- 本製品は、空気を充填するためにご使用頂くものです。本来の目的以外に使用しないで下さい。
- 暗い場所での作業は事故の原因となります。十分に明るくして下さい。
- 本製品は防水ではありません。雨や水などがあたる場所、湿った場所、濡れた場所で使用しないで下さい。内部ショートによる発煙や、火災、感電の恐れがあり大変危険です。
- 海岸、砂地、河川敷のような枯れ草、木くず、ゴミ、ホコリなどの多い場所で使用しないで下さい。過熱事故や故障の原因となります。
- 火気の近くや、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないで下さい。
- 作業員以外の人が作業場に近づかないようにして下さい。また、作業員以外の人が本体やコードに触らないようにして下さい。特に子供には十分にご注意下さい。
- 付属部品、付属パーツは紛失しないよう、また、子供が飲み込まないようにご注意下さい。
- 電源コードを持って運んだり、引っばったり、傷を付けたり、ドアに挟んだりしないで下さい。故障や破損、または火災の原因となります。
- ご使用前に、本体やコード、部品に破損や変型がないか必ず確認して下さい。異常がある場合は使用を中止し、販売店もしくは本書記載の製造元へご連絡下さい。
- 投げるとす・落とす・叩くなどの衝撃を与えないで下さい。
- 本製品の分解や改造をしないで下さい。本来の性能を発揮できないばかりか、発火や異常作動の原因となり大変危険です。

注意

- 指定電源・電圧以外の電源は使用しないで下さい。市販されている電圧変換器(100V→12V、または24V→12V)の使用は、本製品の性能を十分に発揮できない恐れがあります。
- 本製品の消費電流は最大10Aです。
- ソケットプラグ先端の汚れを取り除いて下さい。汚れたまま使用すると、故障の原因になりますのでご注意下さい。
- 本製品のホースや電源コードによじれや折れ曲がりなどが無い状態でご使用下さい。
- エアバルブの接続部分の汚れやゴミなどを取り除いて下さい。汚れやゴミなどがバルブに引っ掛かったりしますのでご注意下さい。

■ご使用方法と使用上の注意

△ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

警告

- 本製品は、必ず、エンジンを始動した状態でご使用下さい。また、ガレージなど密閉された場所等で使用する場合は、一酸化炭素中毒にならないよう、換気に十分配慮して下さい。
- 本製品の使用中は、エンジンを始動させ、ギアをパーキングまたはニュートラルの位置にして下さい。
- サイドブレーキをしっかりと引き、タイヤに輪止めをして、車が動かないようにして下さい。
- ご使用の際、身体をアースされている物に接触させないで下さい。感電の恐れがあり大変危険です(例:パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)。



警告

- ご使用中は、本製品が高温となる場合がありますので、直接手で触れないようにして下さい。本製品を持つ時は、製品が十分冷えた事を確認しながら持つようにして下さい。
- ご使用中は、ホース部に熱を持ちますが、異常ではありません。この部分を持たないようにご注意下さい。火傷を負ったりする恐れがあります。
- タイヤなどへの空気の充填中は、状態を目視にて確認のうえ、入れ過ぎに注意して下さい。空気を入れ過ぎますと、破裂による怪我をする恐れがありますので十分にご注意下さい。
- 充填中は、作業場所から離れないで下さい。



注意

- 本製品のご使用中は、お車のエアコン、ライト、冷暖房装置やオーディオ機器等の電源をOFFにして下さい。
- エンジンを始動せずに使用しますと、バッテリー電圧が低下し、また、消費電力が増加してヒューズが切れたり、バッテリーがあがったりしますのでご注意下さい。更に、本製品の電源が入らなくなったりする場合もあります。
- 本製品の連続使用の定格は「15分間」です。15分以上の連続使用は、モーターに異常負荷がかかるため、お止め下さい。15分使用後は、5分以上休ませてからご使用下さい。
- 付属のアダプターは、用途に合わせてご使用下さい。国内で販売される自動車・自転車のエアバルブには、主に米式、英式、仏式の3種類があります。
*米式(自動車・バイク)のエアバルブにはホースの口金をそのまま使用できます。
*英式(自転車)のエアバルブには自転車用アダプターをセットして下さい。
仏式、競技用、または特殊なエアバルブには使用できません。

電源コードを接続する

- ①本製品の電源スイッチがOFF(O側)になっていることを確認して下さい。
- ②圧力ゲージが0になっていることを確認して下さい。
- ③ソケットプラグを自動車のシガーソケットに奥までしっかりと差し込んで下さい。

※シガーソケットは車種により場所が異なります。

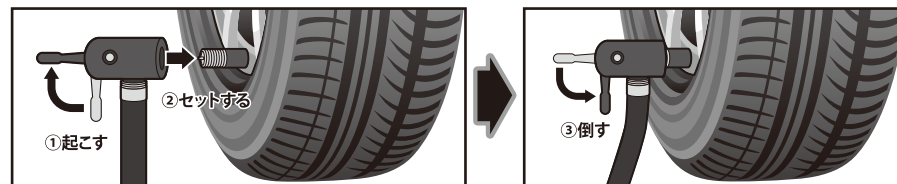


空気を入れる

【米式バルブ(自動車・バイク)にご使用の場合】

- ①ホース先端の口金(米式対応)のレバーを水平に起こして下さい。(緩める)
- ②タイヤ側のエアバルブに奥までしっかりとセットして下さい。
- ③本体のメーターがタイヤの空気圧を示しているか確認して下さい。
※メーターが動かない場合、正しくバルブに口金がセットされていません。
※パンク時などタイヤ内の空気が著しく減っている場合はメーターが動かない場合があります。
- ④口金のレバーを倒して下さい(締める)。
- ⑤お車のエンジンを作動させて下さい。
- ⑥本製品の電源スイッチをON(I側)にすると充填が始まります。

- ⑦圧力ゲージを確認し、適正空気圧に達したら、本製品の電源をOFF(O側)にし、ソケットプラグを自動車のシガーソケットから抜いてください。

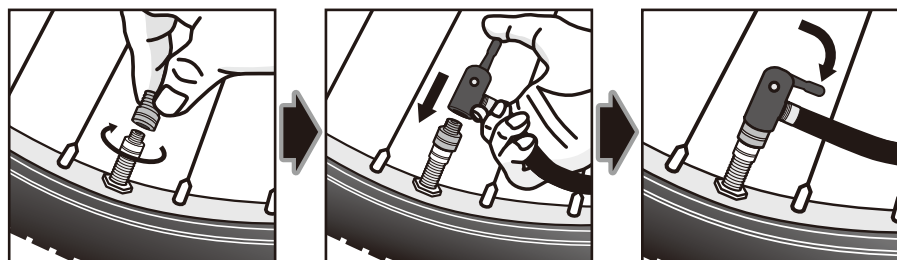


- △メーターがタイヤの空気圧を表示していない状態で、電源を入れるとメーターが破損する恐れがあります。口金が正しくセットされていない状態で加圧されるため、十分にご注意下さい。
- △ご使用中は、状態を目視にて確認のうえ、空気の入れ過ぎに注意して下さい。空気を入れ過ぎますと、破裂による怪我をする恐れがありますので十分にご注意下さい。
- △充填中は、作業場所から離れないで下さい。
- △充填後の正確な空気圧は、市販されているエアゲージで確認して下さい。

アダプターの使用方法

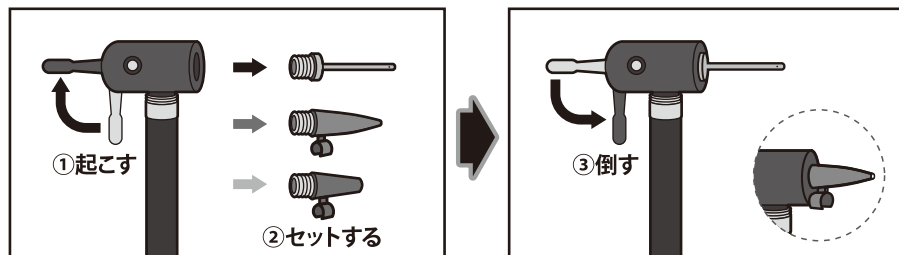
【英式バルブ(自転車)にご使用の場合】

- ①自転車のタイヤバルブに付属の自転車用アダプターを時計方向に回して締めて付けて下さい。
- ②口金のレバーを起こし(緩める)、自転車用アダプターに差し込んで下さい。
- ③口金のレバーを倒して下さい(締める)。



【その他のアダプターをご使用の場合】

- ①口金のレバーを水平に起こして下さい(緩める)。
- ②アダプターを口金に差し込んで下さい。
- ③口金のレバーを倒して下さい。(締める)



※レジャー用品用アダプターをご使用の場合、用途別に合うものを選び、口金の先端に取り付けて使用して下さい。

△耐圧の低い物への充填は、状態を目視にて確認のうえ、入れ過ぎないように注意して下さい。

■ご使用後の注意と警告

△ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

警告	●空気圧充填後は、本製品の電源スイッチを切して下さい。先にシガープラグを取り外すと火花が発する恐れがあり、ヒューズ切れやショートからお車の機器類に影響する場合があります。
注意	●ご使用後は、本製品が十分に冷えてから収納して下さい。 ●保管の際、コードやホースは、丁寧にまとめてから本体内に収納して下さい。よじれたまま収納すると損傷する原因となります。 ●本製品のコードやホースには、耐油性はありません。万一、使用中にオイルなどが付着しましたら、十分に拭き取して下さい。 ●車のトランク内や、屋内ガレージなど、直射日光が当たらず、水・湿気の無い場所で保管して下さい。

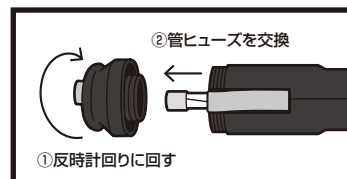
■メンテナンス

△ ご使用になる前に必ずお読み下さい。

注意	●本製品のソケットプラグに「10A」の管ヒューズを内蔵してます。内蔵のヒューズが切れた場合、同じ定格の10A管ヒューズと交換して下さい。
-----------	--

ヒューズ交換方法

- ①ソケットプラグの先端傘部を反時計回りに回して緩める。
- ②キャップを外して管ヒューズを引き出し、新しいヒューズに交換する。
- ③キャップを元に戻し、時計回りに回して締めます。



■万が一、事故や損害が発生した場合について

万が一、本製品の欠陥が原因となり事故や損害が発生した場合は、直ちに発売元までご連絡下さい。また、原因の究明にあたって、下記のような必要最小限の情報のご提供や、現品の回収をお願いする事があります。調査前に処分されないようお願い致します。

- 事故の詳細
- 使用状況
- 現品回収
- 損害のあった物の写真
- 医療機関の診断書
- その他、事故や損害の状況に応じて必要な情報など

■故障・異常の見分け方と処置方法

万一、不具合が発生した場合は、下記にもとづいて点検し、処置に困るような時や、原因のはっきりしない時、処置をしても正常に作動しない時は、お買い求めの販売店または、発売元にご連絡下さい。

原因 \ 現象	動かない	空気が入らない	処置方法
ソケットプラグの汚れ	●		ソケットプラグの掃除
電源コードがはずれている	●		ソケットプラグが正しく接続されているか確認する
吸気口のつまり		●	吸気口を掃除する
ホース取り付け部のゆるみ (空気吐出口部)		●	確実に取り付ける
ホース取り付け部のゆるみ (タイヤのバルブ部)		●	確実に取り付ける
バルブコアの劣化		●	バルブコア(虫ゴム)の交換
タイヤのパンク		●	パンク修理 / タイヤの交換
ヒューズが切れている	●		ソケットプラグ内の管ヒューズを確認し、同じ定格の10A管ヒューズと交換する
電源コード内部断線	●		販売店、又は発売元へご相談下さい